



○ めざす児童像
明るい子ども
正しい子ども
強い子ども

○ 学校の教育目標

豊かな心で正しく判断し行動できるたくましい体をもった子どもを育てる
～しっかりととした夢をもち、夢の実現を目指して頑張る子どもの育成～
串間市立秋山小学校 学校だより N.O. 6 令和3年9月24日発行

秋山っ子

がんばった運動会

9月12日（日）に運動会を実施しました。今年度の運動会は、新型コロナウイルス感染予防のために学校単独の運動会にさせていただきました。例年であれば当日が雨の場合は、1週間延期していましたが、学校単独ということもあり、雨の場合は、体育館で実施することにしていました。前日の準備の前に次の日の天気予報を見て、体育館での実施と決め、準備万端整えて当日を迎えました。

ファンファーレとともに運動会の開会式が始まりました。開会式では、1年生の男児が児童代表のことばを、各団団長（5年生）が選手宣誓を、3年生女児が競技上の注意を堂々と言いました。また、3年生男児が準備運動の指揮を上手に行いました。3年生が行った役割はどの学校も6年生が行う役割です。どの学校の6年生にも負けないぐらいそれぞれの役割を立派に果たしました。

開会式後はエール交換を行いました。各団にエールを送り合った後、両団が秋山小にエールを送りました。

最初の競技は、一輪車競争でした。これは、雨の日だけのプログラムで徒競走の代わりに3・5年が行いました。3年生は、途中まで走り、最後はスラロームをしてゴール、5年生は、最初にフラフープくぐりをして、スラロームをしてゴールというルールで行いました。

表現「ソーラン」は、全員でソーラン節を力強く踊りました。ソーラン節を盛り上げるために金谷小から大漁旗をお借りして、校長が振りました。

全児童・保護者による「ボール運び」は、抜きつ抜かれつの大接戦でした。

「秋山音頭」は、児童・保護者・職員だけでなく、児童の親族の方も交えてみんなで踊りました。

「大玉転がし」は、初めは白がリードしていましたが、最後に赤が逆転して逃げ切りました。

秋山小運動会の最大の見せ場である一輪車演技は、はじめにそれぞれの個人技を披露しました。6月の一輪車チャレンジ集会では目標の2mを達成できなかった1年男児が目標の3mを見事クリアしました。学年技では、3年生3人がボールをパスしながら進み、1回も落とすことなく、最後まで走り切りました。最後は、メリーゴーランドと一列走行でしたが、両方とも見事成功しました。





今年度初めて取り入れた児童、保護者、職員対抗リレーでは、前回の予行練習で児童に負けましたので職員チームは本気で勝ちにいきました。結果は1位 児童チーム、2位 職員チーム、3位 保護者チームの順でした。児童チームの厚い壁に阻まれてしまいました。勝った児童たちの笑顔はその日一番の笑顔に見えました。

最後は、団対抗全員リレー（回旋リレー）でした。1人2回走りました。結果は、大玉転がしの雪辱を白団が果たしました。

閉会式では、3年生の男児が結果発表を、5年生の2人が児童代表のことばを堂々と言いました。結果は、わずか4点差で赤団の優勝でした。今年度の運動会は学校単独の体育館での運動会となりましたが来賓の皆様、保護者、親族の方々に応援していただき、児童だけでなく私たち学校職員にも思い出に残る素晴らしい運動会になりました。運動会という大きな行事を通して子どもたちはまた一回り成長したように感じています。今後もさまざまな行事そして日々の教育活動を通してさらに大きく成長できるように指導していきます。



ありがとうございました

学校単独の運動会にも関わらず今年度も秋山消防団様、北方地区社会福祉ふれあい推進連絡協議会様、4地区自治会（鯛取、倉掛、秋山、小城久保）様から金一封を、秋山消防団様から飲み物をいただきました。ありがとうございました。

うれしい知らせ

9月13日（月）にサイエンスコンクールの南那珂地区審査会が行われ、本校の女児の作品が南那珂地区の最優秀賞（県審査会進出作品）に選ばれました。これは、昨年度の4年（現5年）男児に続く、快挙です。女児は、理科の時間に担当の教頭の指導の下、「ミニトマトは、どんな水を与えるとよく育つだろうか」というテーマや検証方法などを決めました。そして、夏休み中に粘り強く実験・観察をし、それをきれいに分かりやすくまとめてきました（右の写真は、そのほんの一部です）。各種作品コンクールが本格的に始まるこの時期に幸先いい知らせが飛び込んできました。これから児童の活躍が楽しみです。

